※事務事業	 ドノ 0110040402	平成 25 年度 事	務事業シート ₋	_			P1
部署名	部 教育委員会 課 図書館		事業年度期限 🕙	無有(平成	年度~平	<u>花</u> 成 年度)	
会 計	一般会計 款・項・目 1 0040	4図書館費	新規/継続機	市民協働	行政主体	総合計画ロード	3213
事業名	02図書館運営事業		(事業区分1)	いりに加到	门政工件		0210
目 的 (成果)	図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。						
内容(概要)	図書資料の受入れ、貸出し、各種団体活動の推進を図る。						
■事業費	業費 [・] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
	平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年原	隻 予算			
	図書の貸出、図書検索情報提供、図書館	図書の貸出、図書検索情報提供、図書館	図書の貸出 図書検売標報場	3.44 図書館協議会	、 朗詰		

■事業質							
	平成23年度 決	算	平成24年度 決	算	平成25年度 予算		
事業内容	協議会、朗読ボランティア育 週間記念作品募集及び表彰 図書館員体験講座	成講座、読書	励哉云、切貳ハノンノイノ 月风神座、武音 周則司合佐P曹佳及び主部 百伝カーロ		図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読 ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表 彰、夏休み一日図書館員体験講座		
	国庫支出金 県支出金 市債		県支出金		国庫支出金 県支出金		
財源内部	その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9,473,082	市債 その他 一般財源	10,611,513	市債		20,000 7,232,000
	計	9,473,082	計	10,611,513	計		7,252,000
	節番 節名称 01 報酬 07 賃金 08 報償費	135,000 3,333,000	節番 節名称 01 報酬 07 賃金 08 報償費	4,443,220	節番 節名称 01 報酬 07 賃金 08 報償費	金額 105,000 4,682,000 216,000	うち臨時分
	11 需用費 12 役務費 13 委託料	349,775 97,117	11 需用費 12 役務費 13 委託料	618,688 115,357	11 需用費 12 役務費 13 委託料	629,000 112,000 656,000	
歳出内部	14 使用料及び賃借料 19 負担金、補助及び交付金	4,422,600	14使用料及び賃借料19負担金、補助及び交付金27公課費	4,422,600	14 <mark>使用料及び賃借料</mark> 19 <mark>負担金、補助及び交付金</mark>	772,000	
				,		I	
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1	
(会本)	決算額計	9,473,082	決算額計	10,611,513	予算現額計	7,252,000	0
(参考) 人件費	H23当初予算額 職員人件費 1.1 人工	9,519,000 8,796,517		10,642,000 8 069 847	伸び率(%) 対・決 -31.7 職員人件費 1.0 人工	対・予	-31.9 - 7,491,092
総事業費		18,269,599		18,681,360	歳出+職員人件費		14,743,092

■指煙

_ 10 1	1月1末						
種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活勁	開館日数	日の本館開館日数		目標_	280	280	280
			年间の本期開期日数		281	278	
指標	図書蔵書数	Ⅲ	生度末における本館の図書資料蔵書数		92,000	95,000	98,000
	四百两百数	1111			94,821	97,903	
	入館者数	Į.	E間の本館入館者数 -		49,000	49,000	49,000
成果		八			45,507	48,041	
指標		ί	年度末における個人登録者数		12,400	13,000	14,000
	立 料 行	<i>/</i> \			12,487	13,055	

■事務事業の点検

ı	.21		ᄮ	~	ᆂ	44
ı	ו עו	要	141	U)	皿	休

- □ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- ✓ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
- 【必要性 Total判定】口
- A:高い(義務) ● B:普通
- C:低い <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

図書館本館及び千代田分館にて図書資料の貸出し、学習情報の提供を行うとともに読書活動 の指導助言につとめ、生涯学習活動の推進を図る。

目標達成状況の点検

- ✓ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
- 【目標達成状況 Total判定】
- A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

事務の効率化によりサービス業務は対応できた。

実施内容・方法の点検

- ▼ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- ✓ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】口

- A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

地域及び住民ニーズに応じた情報提供及び図書館サービスの充実を図りながら安心、安全に 利用できる図書館運営にしていく必要がある。

■課題と対応方策

	図書ICチップ添付の活用するためにシステムの更新を図りレファレンス業務等の市民サービスを向上させる
次年度における 対応方策 (改善方策)	図書システムの構築
中長期的な視 点での対応方 策 (改善方策)	図書館利用者の増大

■今後の方向性					
		一次評価【	課長評価】		
評価者	宮本敏光	3	担当課名 図	書館	
事業の方向性	● このまま継ぎ	続 ○ 改善して継	続○休廃止(年後を目処)	○ 終了
事業費の方向性	● 増額	○現状維持	○減額		
	図書システムを利便性を図る		構築しレファレ	ンス業務を容易にし	利用者の

	二、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三				
部長名	金田康則	担当部名·教育委員会			
確認	✓ 確認				
	新システム、子ども読書活動推進計画への取り組みなども含め、本館と				
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	ながるような取り組みが必要と	:思われます。			

Р1

※事務事業コード/ 0110040403 平成 25 年度 事務事業シート ● 無 ○ 有 (平成 部署名 | 部 | 教育委員会 事業年度期限! 課义書館 年度~平成 年度) 新規/継続・継続 一般会計 款•項•目 100404図書館費 会 計 市民協働 行政主体 総合計画ロード 3213 事業名 03蔵書整備事業 (事業区分1) 目的 図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。 (成果) 内 容 図書館本館及び分館に図書・雑誌及び視聴覚資料を年次的に整備していくとともに、予約・検索システムを活用し利用者の利便性を図る。 (概要) ■事業費 (単位:円) 平成23年度 決算 平成24年度 決算 平成25年度 予算 事業内容 図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業 ■図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業 ■図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業 【特記事項】 国庫支出金 国庫支出金 国庫支出金 県支出金 県支出金 県支出金 市債 市債 市債 財源内訳 その他 その他 その他 一般財源 一般財源 一般財源 6,773,205 19,745,742 7,991,000 19,745,742 7,991,000 6,773,205 計 節名称 - うち臨時分 節名称 金額 節名称 金額 節番 金額 節番 節番 11 需用費 1,113,584 11 需用費 1,021,696 11 需用費 1,158,000 14 使用料及び賃借料 591,150 13 委託料 12,183,150 14 使用料及び賃借料 592,000 18 備品購入費 18 備品購入費 5,068,471 14 使用料及び賃借料 591,150 6.241.000 18 備品購入費 5,949,746 - 6 歳出内訳 1 1 決算額計 6,773,205 決算額計 19,745,742 予算現額計 7.991.000 (参考) H23当初予算額 H24当初予算額 伸び率(%) 対・決 -59.5 対·予 6,811,000 19,876,000 -59.8人件費 職員人件費 1.0 人工 職員人件費 0.8 人工 6,455,878 職員人件費 7,996,834 0.8 人工 5,992,874

26,201,620

歳出+職員人件費

13,983,874

総事業費

歳出+職員人件費

14,770,039

歳出+職員人件費

■指煙

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
いてチム	図書蔵書数	₩	度末における図書・視聴覚資料蔵書数		122,500		128,000
指標	図書購入予算額		 年度末における備品(図書・視聴覚資料)購入費	実績目標	125,479 5,069	,	6,211
	凶音牌八了异似	千円	皮木にわける傭品(凶音・倪聰見質科)購入資		5,069	5,795	
	図書貸出数	₩.	間の図書・視聴覚資料貸出冊数		85,000		88,000
成果					86,513	88,330	
指標	貸出人数	Į.	年間の図書・視聴覚資料貸出人数	_目標_ 実績	35,000		35,000
	д н / / //		1月27日 沈松光貝竹貝田八纵		24,403	24,393	

■事務事業の点検

I	心	要'	性	ന	占	検

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- □ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】口

○ A:高い(義務)

● B:普通

O C:低い <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

図書館本館及び千代田分館に図書・雑誌及び視聴覚資料を備えるととむに、予約・検索システ ムを活用し利用者の要求に応える。

目標達成状況の点検

- 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

- A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

図書、視聴覚資料とも増加が図られた。

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】口

- A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

人気のある図書資料、視聴覚資料の選書により貸出人数の変化が期待できる。

■課題と対応方策

課題	 限られた予算の中で、地域の実情及び住民のニーズに応じた選書が求 められている。
	他の図書館と比較し設定数が少ない絵本、紙芝居、雑誌、コミック本等の 種類を増やし、より親しみやすい図書館としていく。
	限られた配架書架であるので、社会情勢の変化を考慮した長期的な蔵書 計画を策定する。

■今後の方向性					
		一次評価	【課長評価】		
評価者	宮本敏光		担当課名図書館	Ì	
事業の方向性	● このまま継続	売 ○ 改善して終	<mark>継続○ 休廃止</mark> (年後を目処)	○ 終了
事業費の方向性	○増額	● 現状維持	○減額		
次年度の 取組方針 (改善方針)	前年度に続き、	利用者の要	望にあわせた図書	資料の整備につ	とめる。

	二次評価【部長評価】					
部長名	■金田康則	担当部名·教育委員会				
確認	✓確認					
	地域の事情や市民ニーズ	地域の事情や市民ニーズに応じた図書の充実が必要です。				

※事務事	業コード ∕ 011004040)4	平成	25 年度 事	務事業シート					P1
	<mark>部</mark> 教育委員会				事業年度		有 (平成	年度~5	平成 年度)	
会計	一般会計 款•項•目 100404図書館費			新規/糾		市民協働	行政主体	総合計画ロード	3213	
	04ブックスタート事業					分 1)	1 2 6 1333 1233	13:21—11		
目 的 (成果)	子育て支援の一環として、生	ヒ後4ヶ月児及て	べその保護者を対象に、赤ち	ゃんと絵本を介	して心のきっかけつ	がくりをする。 -				
内容(概要)	4ヶ月児健診の際、民生委員児童委員(霞ヶ浦地区)、ボランティア(千代田地区)が本を読むことの大切さを説明し、絵本やアドバイス集をパックにして参加者へ提供する。							, o		
■事業費								位:円)		
	平成23年度 決	:算	平成24年度 決算			平成25年度	予算			
事業内容	絵本、イラスト・アドバイス集、	、バックの配布	絵本、イラスト・アドバイス集	、バックの配布	絵本、イラスト・アド	バイス集、バッ	クの配布		【特記事項】	
	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金					
	県支出金		県支出金		県支出金					
	古信		市債		市債					
財源内訳	その他		その他		その他					
	一般財源	360,030	一般財源	360,030				361,000		
	計	360,030	計	360,030	計			361,000		
	節番 節名称		節番節名称	金額	節番 節名和		☆額 □ うち卧			
	11 需用費	360,030	11 需用費	360,030	11 <mark>需用費</mark>		361,000			
	12	0					<u> </u>			
							1			
							<u> </u>			
	-:						<u> </u>			
歳出内訳	-				- 		'			
冰山内扒	-						<u> </u>			
					•		'			
	-						<u> </u>			
	· ·		1		-		i			
										
					•		I			
	決算額計	360,030	決算額計	360,030			361,000	0		
(参考)	H23当初予算額	366,000	H24当初予算額	361,000	伸び率(%) 対・決	0.3 対	·予 0)		

1,613,969 職員人件費

1,973,999

0.2 人工

歳出+職員人件費

1,498,218

1,859,218

職員人件費

歳出+職員人件費

0.3 人工

2,399,050 職員人件費

2,759,080

0.2 人工

歳出+職員人件費

■指標

	10次							
種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	ブックスタート対象者数	タート対象者数 組 ブックスタート事業の対象者となる4ヶ月児及びその保護者	_目標_	400	400	400		
一		小口	フランパン「事業の対象社とはの47万元次の"この体験社	実績	403	307		
指標	ブックスタート実施回数	同	年間のブックスタート事業実施回数	_目標_ 実績	12	12	12	
	フランハアード天旭西数		十川ツグググバケード事業犬旭四数		12	12		
	ブックスタート事業参加者数	公 日	ブックスタート事業に参加した4ヶ月児及びその保護者	_目標_	330	330	330	
八天),,,,,	フラブバン 「事未に参加した」」」に及りて・グトで行	実績	321	292		
指標	ブックスタートパック最終受取者数	プロスタートパック最終受取者数 組 最終的なスタートパック受取者数 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	最終的なスタートパック受取者数	目標_	400	400	400	
	プラブバン 「デラブ・敬称・文献省 数	小工	AX //バドド J はく・ソ T x · フ / 文 4 X 行 数		321	292		

■事務事業の点検

必要'	性	9	뫄	栓
47:72	ıT	v,		11

- □ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- □ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
- 【必要性 Total判定】口
- A:高い(義務)● B:普通○ C:低い
- <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

現代社会において希薄となりがちな保護者と子供との関係を強化するとともに、絵本を介し心安 らぐ子育てを支援し、読書の動機付けを図り生涯学習活動の足がかりとする

|目標達成状況の点検

- □活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ✓ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- □ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
- 【目標達成状況 Total判定】
- ○A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった
- <Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>
- 4ヶ月児健診の際に実施しているので参加率が高くまた、民生委員児童委員等が個別に対応しているため子育ての相談にも応じている。

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある。
- 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- ✓ 成果を高める工夫が考えられる
- 【実施内容等 Total判定】口
- A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない
- <Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>
- 今後も、民生委員児童委員・ブックスタートボランティアの協力を得て実施していきたい。

■課題と対応方策

	課題	図書カード登録者が少なく、図書館の利用とが結びついていない。
	年度における 対応方策 (改善方策)	ブックスタート事業協力者に参加者に対し図書館利用をPRしてもらう。
点		対象者の保護者に対しこの事業の持つ目的や大切さをPRし、絵本の配布事業に終わらないようにする。

■今後の方向性						
		7 7 1 1 1	【課長評価】			
評価者	宮本敏光		担当課名図書	詳館		
事業の方向性	● このまま継続	○改善して紹	盤続○休廃止(年後を目処)	○ 終了	
事業費の方向性	○増額	● 現状維持	○減額			
次年度の 取組方針 (改善方針)	前年度に続き、	利用者の要望	望にあわせた図	書資料の整備につ	とめる。	

二次評価【部長評価】					
部長名	·金田康則	担当部名」教育委員会			
確認	<mark>. ✓ 確認</mark>				
	親子の読書習慣の定着や図書館利用の増加につながるよう、継続的な 読書を促すなどの施策を検討してほしい。				